

Over80名に  
アンケートを  
敢行!

キャリア女性として常に注目される  
彼女たちが、今、輝いている理由とは？

“女医”  
*Life-style*  
“  
と  
*as a Woman Doctor*  
”  
生き方

その活躍ぶりが社会的にも脚光を浴びている女性医師。  
25ansでは早くから彼女たちに注目してきました。  
時代に応じしなやかに変化しながら、今なお存在感を放つ彼女たち。  
その輝きの理由を徹底取材。女医のすべてをお届けします!

Photos : AKIKO FUKUCHI (P.350~355)  
Hair & Make-up : NAMIKO SHIROO [+nine](P.350~351),  
YUKI ENDO [+nine](P.352), MAI HANZAWA (P.354~355)  
Text : YURICO YOSHINO (P.350~357)  
Special Thanks : ISHINOTOMO, MEDICAL ENJOIKAI

確かなキャリアと豊かなプライベートを両立させている女医の方々は、多くの25ans読者にとって憧れの存在。そんな「女医ブーム」をけん引してきたこの4人に、ドクターとしての情熱と本音をお聞かせいただきました。

## 目指すは生涯現役ドクター。健康管理は怠りません

祖父のころから病院を営んでいて、医師は親しみのある職業でした。母に「これからの女性は手に職を」と言われたこともあり、ごく自然に医師を目指しました。長年、循環器内科に携わるうち、予防医療の大切さを切実に感じ、美容クリニックでの経験を積むことに。診療を続けるなかで、どんな病気を患ってもクオリティ・オブ・ライフは大事だ、と強く感じるようになり、その最たるものがアンチエイジングだと考えるようになりました。

開院は当時勤務していたクリニックの先生に「独立したほうがいいよ」と勧められて(笑)。とりあえず事業計画書を書いたら融資が下りてしまい、慌てて開業することになったのです。今振り返ると、運命に導かれていたのだ、と感じています。

開院して12年目。「自由診療でやる以上でいいねいに患者さんを診なさい」との母の教えを胸に、注射や採血もすべて私自身が行っています。将来の夢は、養老孟司さんの母、静江さん。95歳で亡くなるまで、割烹着を着て現役女医を続けた方です。私も死ぬ前日まで、お医者さんをしていたいと思っています。

美容皮膚科・美容内科医  
あおいクリニック銀座 院長

中野あおいさん



### Profile

なかの・あおい ●金沢医科大学病院内分泌内科にて循環器内科を専攻・研究。その後、美容クリニック院長などを経て2003年に開業。国際学会へ多数出席し、最先端の技術に定評が。

あおいクリニック銀座  
東京都中央区銀座5-5-13 坂口ビル5F  
☎03-3569-0686 ☎10時～19時  
📅木・日曜  
<http://aoi-clinic.com/>

### 中野あおい先生への5つの質問

- Q1 あなたにとって医師という仕事とは?  
A 人生そのもの。
- Q2 女性医師に必要な資質を3つ挙げるなら?  
A 体力・根性・思いやり。
- Q3 医師以外で憧れの女性は?  
A 美智子皇后陛下。
- Q4 座右の銘は?  
A 為せば成る。No Pain No Gain.
- Q5 もし、医師以外の仕事をするなら?  
A メイクアップアーティスト。



健康管理には  
ジュースクレンズ

1 2014年、表参道に妹クリニックとして「あおいクリニックbis表参道」を開院。2 モナコで催された学会の会場前にて。3 ときにはジュースクレンズを行うことも。日頃は無農薬野菜や手作りみそなどを使い、手料理を心がけている。



モナコやパリの学会へ!



2014年には分院を開業